

## 強化クラブ 全国大会に向けて

スポーツコース担当 朽原 優

スポーツコースでは1年次のPA実習から始まり、3年次の卒業研究に至るまで多くの実習や講習に取り組んでいます。また、3つの強化クラブ合同でスポーツ教室を開くなどその取り組みは充実してきました。

各クラブでは、アメリカンフットボール部は春季大阪大会で準優勝、関西大会ベスト4と過去最高の成績を残しています。女子サッカー部は皇后杯JFA 全日本女子サッカー選手権の大阪大会を3位で勝ち抜き、関西大会に出場し、準決勝で大学生相手にPK戦の末惜しくも敗れましたが、3位となりました。女子ラグビー部はU18全国女子ラグビーフットボール大会近畿予選を2年ぶりに1位通過しました。全国的な強豪校である京都成章高校を破っての全国大会出場になります。

3クラブとも充実した夏の遠征や合宿などの取り組みの成果を発揮し、秋季大会で悲願となる全国制覇を成し遂げることができるよう精いっぱい努力をしていきます。ご声援の程よろしくお祈りします。



女子サッカー部



女子ラグビー部



アメリカンフットボール部

## 3年目を迎えた創造コースのいま

創造コース教育推進部長 牛込 紘太

追手門学院の教育理念には「人間のほんとうの幸福とは何か」という命題が据えられています。これはいつの時代も教育の意味を自分自身に問い続けることであると私は理解しています。

その教育の意味を問い続け、「語れるすどころ」という対話で自己理解を深める教材を生み出したのが、創造コース1期生の「わたがし」(古川 元晴・中村 颯希・山崎 凜)です。

3人は進路決定において自己理解の不足が原因にあるのではないかと考え、自分と他者の違いを対話を通して知ることが、結果的に自己理解につながると考え、この「語れるすどころ」を発案しました。3人は自費で体験イベントを



開催し、改良を重ねた教材を武器に「NEXT Education Award 2024」では最優秀賞を受賞しました。

さらに、教材を世の中に広げるためにクラウドファンディングに挑戦して、目標額の100万円を集めて法人化を目指して活動を続けています。3人に限らず、創造コース1期生は本気になれることを見つけて、こだわり、行動し続けること、何より楽しむことの大切さを今の教育に問いかけてくれていることを誇りに感じています。

